

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/05/05 Vol. 1 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

### 市議会議員に再選されました。

～皆様のご支援 心より感謝いたします。

「みどりあふれるこの街に、市民と行政が手を携え、身障者も子どもも老人も、女性も男性も、国籍に関わりなく、私達が明るく、朗らかに、生き生きと過ごせる街をつくっていく。私達の子供たちのために、北総の中核都市「印西」を市民参加でつくっていく。」

選挙期間中、私が皆様に一番お伝えしたかったのは、「市民参加のまちづくり」  
「市民参加の印西市」を目指して、共に手を携えて考えていきたいと思います。

無事に皆様のご支援で再選を果たすことができました。心より感謝いたします。  
- お金をかけない選挙を目指しました。ボランティアだけで、アルバイトを一人として  
お願いせず、牧の原の皆様、東京、横浜、千葉、埼玉 多くの街から私の友人が集まって、  
手弁当で、選挙活動を行いました。その手法は、電話による投票依頼なし。戸別訪問も  
全くなし。(戸別訪問は、公職選挙法で「禁止されています。」)。選挙用の写真入りの  
上質紙によるチラシもつくり、政治活動として、皆様に配布していた、この議会報告  
「みどりみらい」だけを支えに、選挙をはじめました。

**ハンドマイクひとつを頼りにして、50ヶ所以上で演説を行いました。**

窓から手を振って応援してくれた皆様。車の中からも手を振ってくれた皆様。  
ショッピングセンターで立ち止まり、私の話しを耳を傾けてくれた皆様。  
そして、誰よりもいつも笑顔で手を振って応援してくれた多くの未来の有権者の為に  
私はがんばっていきたいと思います。

一人一人に十分なメッセージを伝える事はできなかったと思っています。  
政治不信が叫ばれる現在、多くの皆様が不満をいただくように「選挙運動期間前や選挙運動  
中のみ」の活動をするつもりはありません。私は、4年前に初当選したときと同じように、  
私が知りたかった、多くの市政に対しての「なぜ？」を皆様と共有し、共に考えて  
いければと思います。私は、今でも、市政に対し言いたいことが山のようにあり、  
皆様と共にこの街の将来を考えていきたいと思います。

私がこの街の行政に期待することは、毎日の生活が少しでもよくなることです。  
利益誘導や利権あさを私はできません。そのかわりに、皆様とともに、しがらみや  
前例にとらわれずに自由にモノを言い「本音で正論を訴え」、市政の向上に力を尽くしてい  
きたいと思います。また、最大多数の最大幸福でなく、少数意見も大事にし、一人一人が  
大事にされる社会を目指していきたいと思います。

1322票という大量得票に驚き、そして感謝、感激しました。この結果に驚いているのは  
まぎれもなく私自身です。ご支援、ご声援本当にありがとうございました。

皆様と、私に投票してくれた方々のお気持ちを裏切らぬように、期待に添えるように  
4年前の初当選時と同じように初心を忘れることなく、この4年間、精一杯の活動を

してまいります。

## 今後の議会日程について

5月8日(木曜日)全員協議会

- \* 議会組織の構成について
- \* 初議会の運営について
- \* 会派\*について その他

5月15日(木曜日)臨時議会・・・市議会議長が正式に決定します。

6月11日(水曜日)～25日(水曜日)印西市議会 平成15年第2回定例議会

## 会派について

印西市議会では、会派制度を採用しており、市政運営の提言を会派でまとめ議会で「会派代表質問」として市の執行部に市政運営のありかたを問うて参ります。今回、私は松本隆志議員(高花)と増田葉子議員(内野)と3人で「まちづくり研究会」を引き続き結成し、議会で発言をして行く予定です。

政党や大会派に属しないと、「議会では何もできないのでは」という声もありますが、市民皆様の要求を実現するために必要なのは、絶え間なく、実行可能な政策を提案し実現していくことであると考えております。

また、議会の「多数意見」が、本当の市民の「多数意見」なのかということを見極め、その多数意見が、適切でかつ将来を見据えているのかを市民の皆様にご報告し、皆様と共に考えて参りたいと思います。(私は政治に対して、「声なき声を拾い上げ、少しでも不幸を少なくして行く。」この姿勢を変えずに皆様の声を伝えて行きたいと思います。また、この街が強いものが弱いものを従え、抑圧する今の社会の価値観を否定し、誰もが一人の個人として大切にされ、よりよく暮らせる街であって欲しいと思います。)

## 今、考えたい 地方議会の役割

私は、議員は地域の維持、発展に責任のある活動が期待されていると考えています。皆様のご支援をうけて、再選された今、皆様と地方議会の役割を考えたいと思います。地方議会の役割。。。

その役割は第一に、地方公共団体の具体的施策を最終的に決定する事が挙げられます。

議会は、地方公共団体の政策形成過程および政策の実施過程に多面的に参画し、その要所で重要な意志決定を行っています。勿論、現状では多くの政策は執行機関の方で作られ、議会に提案、議員は本会議や委員会での質問、質疑、修正を通して、政策形成過程に参画し、予算、契約、条例等の審議において最終的な政策の決定、すなわち地方公共団体の意志決定を行っています。(議員自身による政策の提案は、具体的には一般質問、質疑というやや間接的な方法をとる場合が多いのですが、意見書、決議という形式をとったり、時には議員立法で条例を制定したりして、直接的に政策形成を行うことができます。)

(「住民意思の反映機能」としての役割)

第二は、議会が決定した政策を中心に行う、執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施がすべて適法、適正に、しかも公平、効率的にそして民主的になされているかどうかを批判し、監視することです。この批判と監視は、非難でもなければ批評や論評でもなく、あくまでも市民全体の立場でなされる文字通り正しい意味での批判であり、また市民の立場にたったの監視であるべきと考えています。

(批判監視機関としての役割)

これら2つの地方議会の役割を充分理解し、皆様の代弁者として力を尽くして参ります。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回は5月下旬に紙面を発行させていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思えます。よろしく願い申し上げます。

ぐんじとしのり